



福岡県立 西田川 高等学校



生徒の表現力を育み、「深い学び」を促す授業改善の取組

昨年度からの授業改善の重点項目 ~ 生徒が主体的に考え、安心して学習に取り組める授業環境の整備

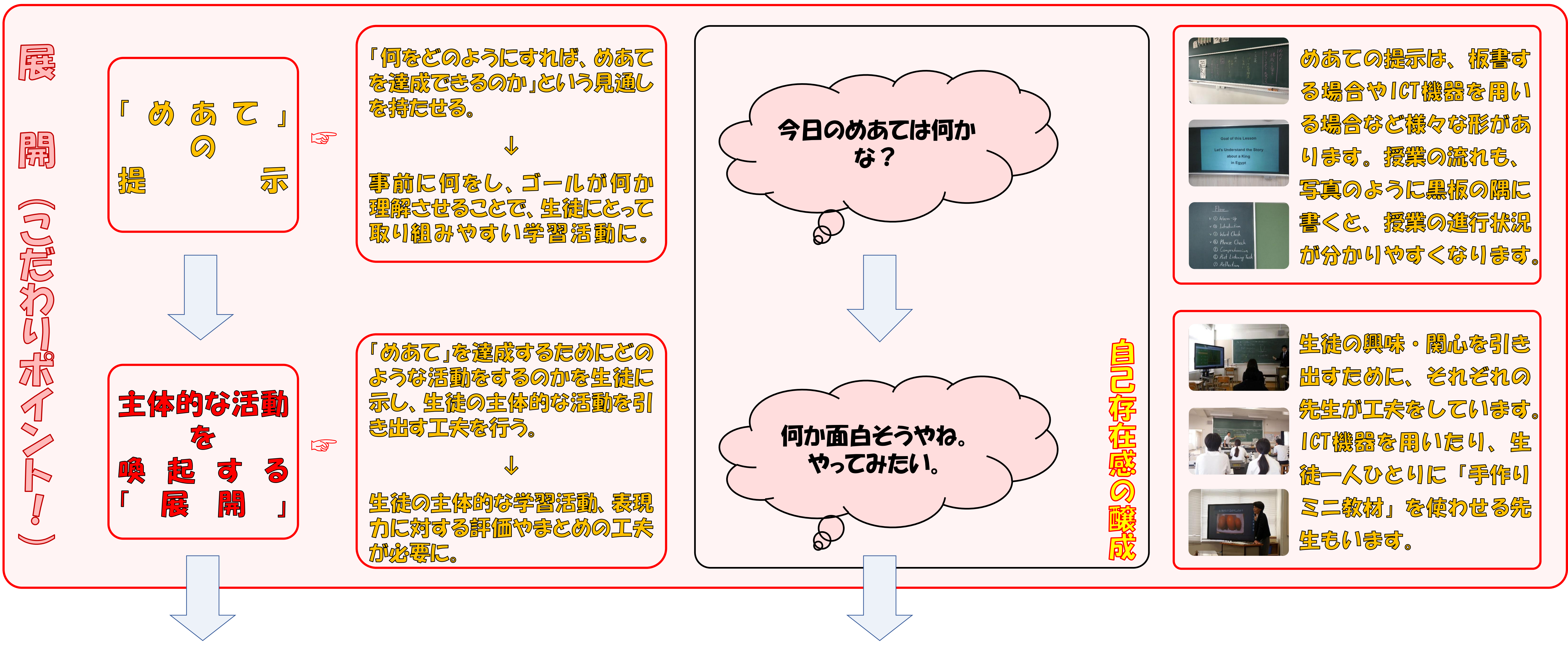
- ・ 「めあて」の提示と生徒による「主体的な学習」の実施
- ・ 生徒の興味・関心を喚起する授業の展開の工夫

実際の授業のイメージ

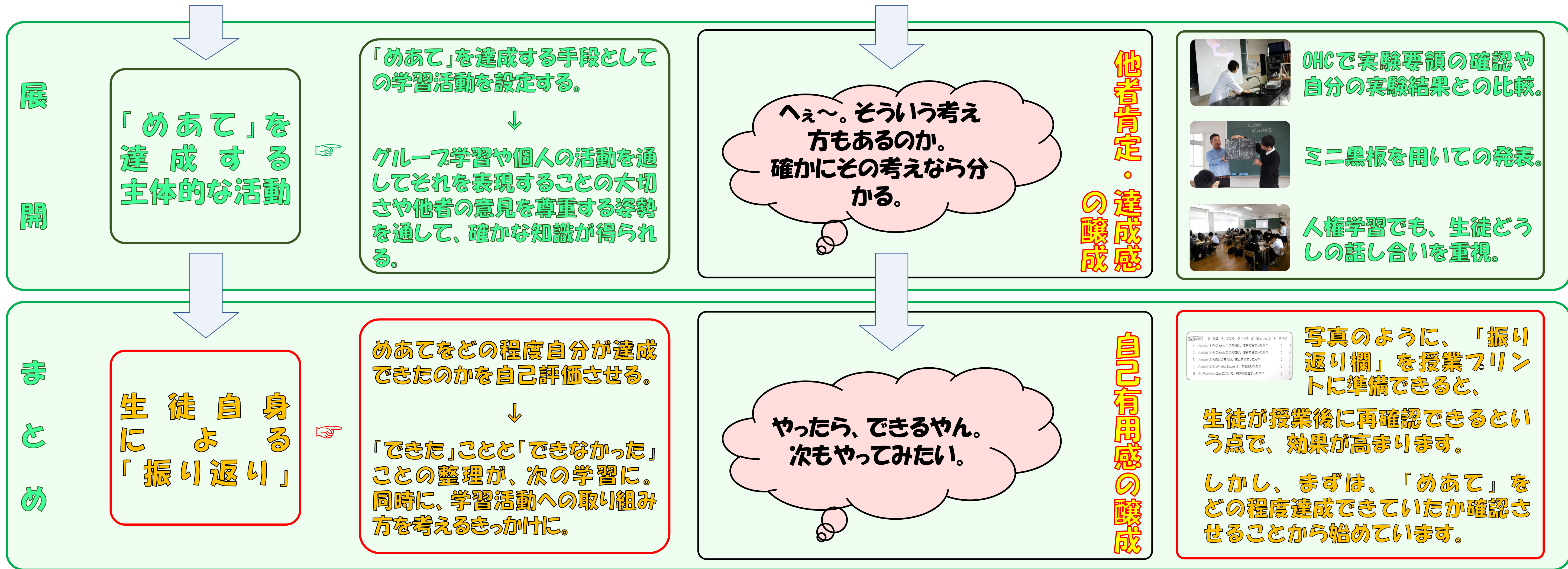
具体的には？

生徒の感じ方

取組の実際



生徒の主体的な活動を引き出して、展開・まとめへ



校内研修体制について

- 年間2回の「**授業見学期間**」の実施
 - ★ 基本コンセプト～「授業を行う方も、見る方も**気軽に!**」
- **全員が必ず1回は研究授業を実施（前期・後期）**
 - ➡ 自らの技量を高めるとともに、わかりやすい授業の実践につながる
- 「**授業参観メモ**」を還元することで、今後の授業実践への励みになる

本校では、これまで前期・後期公開授業月間を設けていましたが、それだけでは、教員個々人の授業改善につながらないのではないかとこの意見があり、今年度から、**全員の研究授業**を取り入れた結果、研究授業の実践や各々の先生方の授業を参観することで、自身の授業に活かすことができています。参観者から授業者へ**授業参観メモ**を還元し、今後の授業実践への参考にしてもらっています。

生徒の声

- めあてのおかげで、**授業で何をすれば良いかが分かりやすい。**
- ペアやグループで教え合うことで、**楽しく授業に参加できた。**

教員の声

- 授業に**前向きに取り組んでくれる生徒が多くなった。（20代教員）**
- 主体的な活動実施する際に「めあて」や先を見通した授業展開を教員が考えないと、**生徒の気付きを阻害するかもしれない。（40代教員）**

成果

- まずは生徒の「**主体的学び**」「**表現力**」に**授業改善の主眼**を絞ったことで、指導経験の比較的少ない先生達にも**取り組みやすいもの**となった。（取組内容の心理的簡素化）

課題

- 今年度は、生徒の「**表現力の育成**」「**深い学び**」をテーマに絞って**授業改善**を行っているが、今後、それぞれの先生の**授業力**によって、**学校全体での段階的授業改善を推進する必要がある。**
- （**授業改善のOJT**）